

神谷中サブファミリー

施設一体型小中一貫校新築基本設計検討会
第2回ワークショップ

2018年10月22日(月)



配布資料の複写や転載、インターネット等での公開等はご遠慮下さい。

第2回ワークショップ[°]

0.開会

第一部

1.先進事例紹介

第二部

2.第1回のワークショップの振り返り

3.配置案について

4.総括・次回の予定確認

2 第1回ワークショップの振り返り

2

2-1 大切にしたいこと



2 第1回ワークショップの振り返り

2-2 施設配置の検討

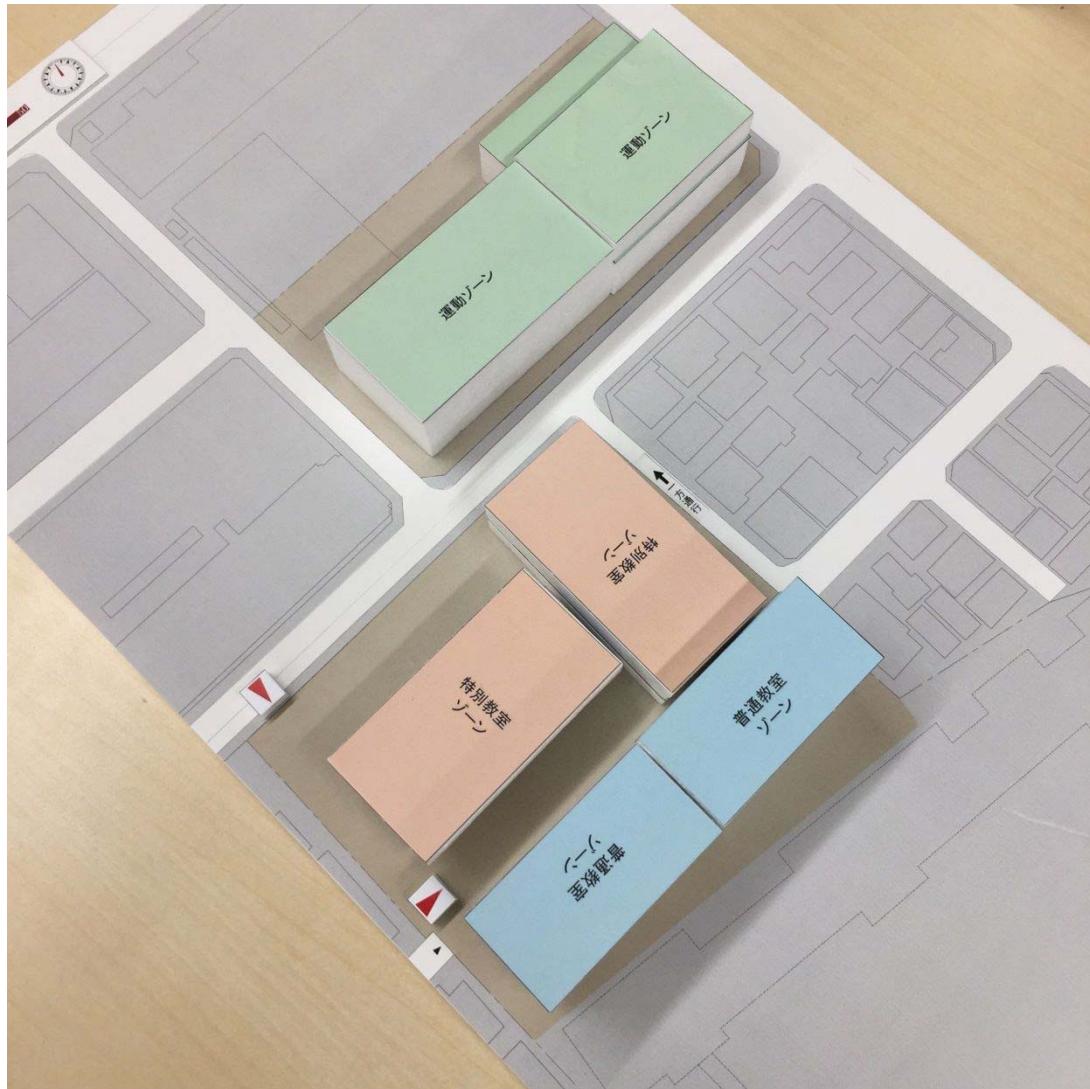


2 第1回ワークショップの振り返り

4

2-2 施設配置の検討

1班:5階建 北側低層案-1



検討時のコメント

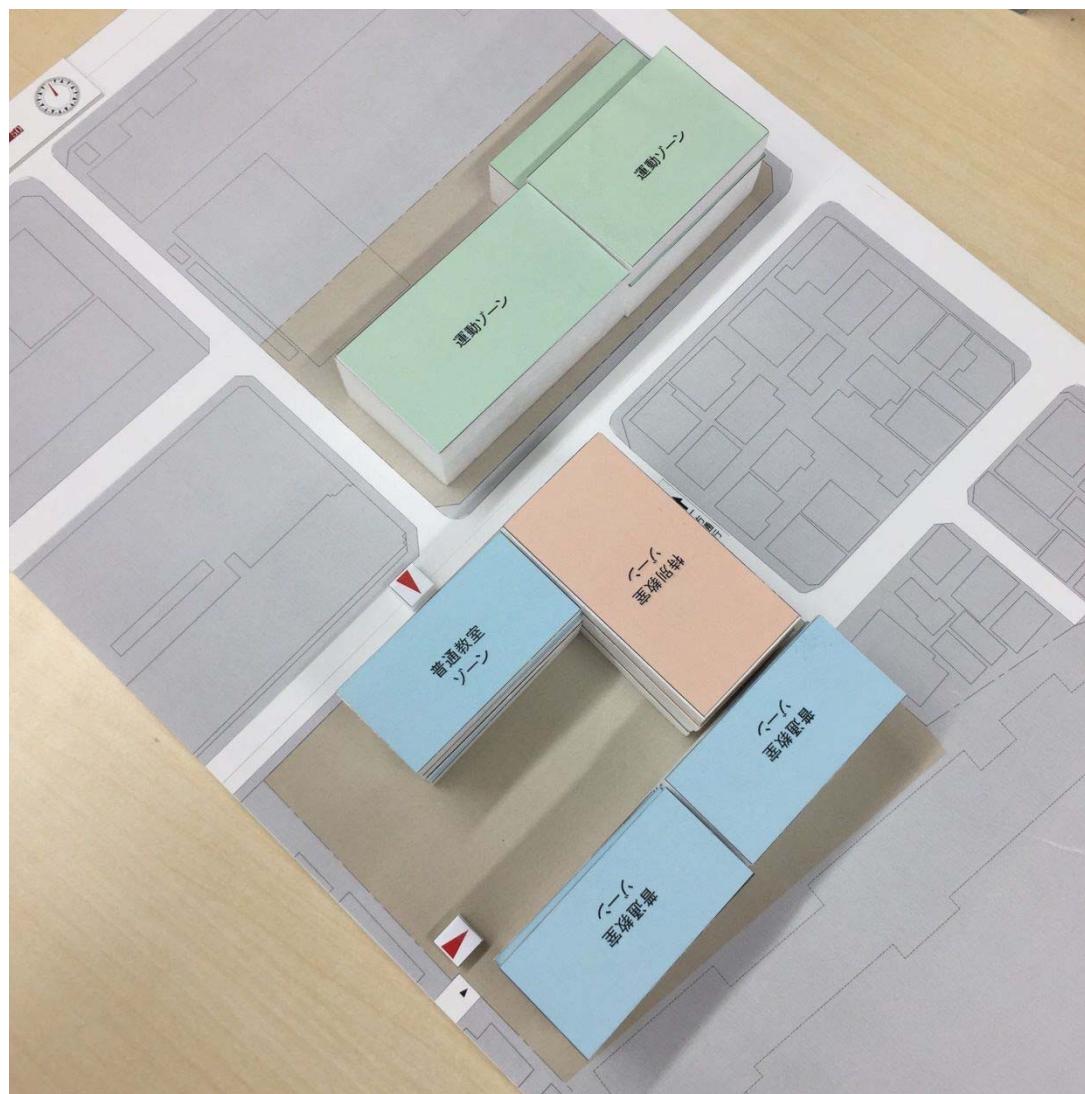
- 普通教室は全てグラウンドに面し、オーソドックな横並びの配置で南向きが良い
- 近隣配慮として特別教室・管理の高さを抑えたい
- 南側校舎の特別教室の一部を北側校舎に移したい
- 南門からのアプローチは災害時等に必要となる
- 昇降口は北側・西側両方から入れると良い
- 登下校を考慮し、北側はセットバックして歩道を広げたい

2 第1回ワークショップの振り返り

5

2-2 施設配置の検討

2班:4階建コの字配置



検討時のコメント

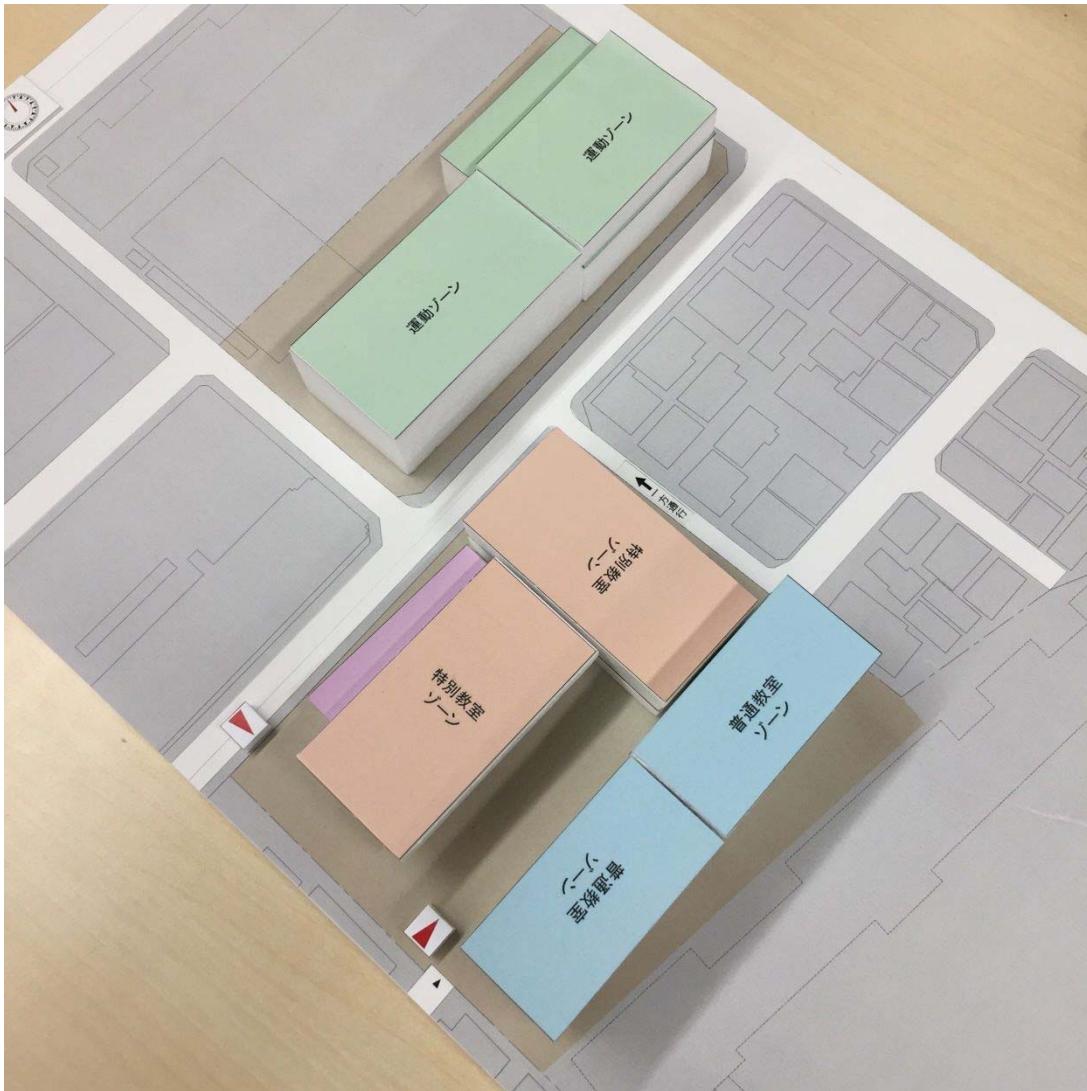
- 普通教室は全て南向きにしたい
- 渡り廊下でつなぐことを考慮すると特別教室は東側配置が良い
- 周辺環境に対し、壁面後退を有効に活用し、高さを抑えたい
- 昇降口は西側から設けられると良い
- 給食・学童の配置を考慮すると北側に空地が必要

2 第1回ワークショップの振り返り

6

2-2 施設配置の検討

3班:5階建 北側低層案-2



検討時のコメント

- 普通教室は全てグラウンドに面し、南向きが良い
- 近隣配慮として特別教室・管理は3階建に高さを抑えたい
- 屋上部分は実験や菜園にして有効活用したい
- 低学年の遊び場として中庭を計画したい
- 昇降口は北側・西側両方から入れると良い
- 登下校を考慮し、北側はセットバックして歩道を広げたい

第2回ワークショップ[°]

0.開会

第一部

1.先進事例紹介

第二部

2.第1回のワークショップの振り返り

3.配置案について

4.総括・次回の予定確認

3. 配置案について

8

3-1 計画(案)A

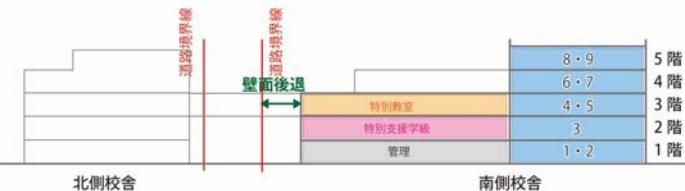
A案		赤文字: B案と異なる点
凡例		
断面図		
階数		南側校舎: 4階 北側校舎: 4階
学習環境	普通教室	<ul style="list-style-type: none"> 南側に面して普通教室を全て配置。 1 フロアに 3 学年ごとのグループで配置。
	特別教室他	<ul style="list-style-type: none"> 3 学年ごとのフロアにそれぞれ学年に適したメディアセンターを配置。
動線計画	昇降口	<ul style="list-style-type: none"> 公開空地と一緒に北東側へ正門を設置。 1、2 年生は専用の階段を介して 2 階から直接教室へアクセス可能な計画とし、3 年生～9 年生は 1 階に昇降口を設置。
	グラウンド	<ul style="list-style-type: none"> 北東側にメインアプローチを設けることでグラウンドの中心へアクセス可能な計画
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 搬入口は北西側に設置。 学童は北側校舎へ配置。
近隣への配慮		<ul style="list-style-type: none"> 北側道路に面して壁面後退を行い、広場などの空地を設けることで近隣建物への圧迫感を軽減。 北東、北西側には建物の外周部にデッキが回ることで周囲への圧迫感を軽減。
防災		<ul style="list-style-type: none"> 防災備蓄庫等は北側校舎へ集約し、体育館、公園と一緒にした防災拠点として機能。 北側校舎を防災拠点として避難時も南側校舎が学校運営が可能。



3. 配置案について

9

3-1 計画(案)B

B案 赤文字: A案と異なる点	
凡例	
断面図	
階数	南側校舎: 普通教室ゾーン 5階 管理、特別教室ゾーン 3階 北側校舎: 4階
学習環境	<p>普通教室</p> <ul style="list-style-type: none"> 南側、グラウンドに面して普通教室を全て配置。 1 フロア 2 学年を基本として普通教室を配置。 <p>特別教室 他</p> <ul style="list-style-type: none"> 昇降口への視野が開いた職員室。 昇降口・教室を繋ぐ中心にメディアセンターを配置し、校舎全体が学びの空間となる。
動線計画	<p>昇降口</p> <ul style="list-style-type: none"> 公開空地と一体となった北東側へ正門を設置。 1、2 年生は 1 階部分から直接教室へアクセス可能な計画とし、3 年生～9 年生は 2 階に昇降口を設置。 <p>グラウンド</p> <ul style="list-style-type: none"> 北東側にメインアプローチを設けることでグラウンドの中心へアクセス可能な計画。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 搬入口は北西側に設置。 学童は北側校舎へ配置。
近隣への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 普通教室を 5 階建とすることで北側に面した建物は 3 階建とし、周囲への圧迫感を軽減。 建物が要所で段地となる為、デッキや屋上緑化として有効活用し、立体的な空地により、圧迫感のない計画。 北東、北西側には建物の外周部にデッキが回ることで周囲への圧迫感を軽減。
防災	<ul style="list-style-type: none"> 防災備蓄庫等は北側校舎へ集約し、体育館、公園と一体となった防災拠点として機能。 北側校舎を防災拠点とすることで避難時も南側校舎が学校運営が可能。



3. 配置案について

10

3-1 A案・B案の違い

A案

階数…………… 南側校舎：4階建

普通教室…………… 1フロアに3学年配置

昇降口…………… 1・2年生→直接教室へアクセス
3～9年生→1階に設置

近隣への配慮…… 壁面後退により空地を設け
圧迫感を軽減

B案

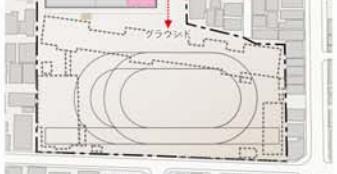
南側校舎：普通教室5階建
特別教室・管理3階建

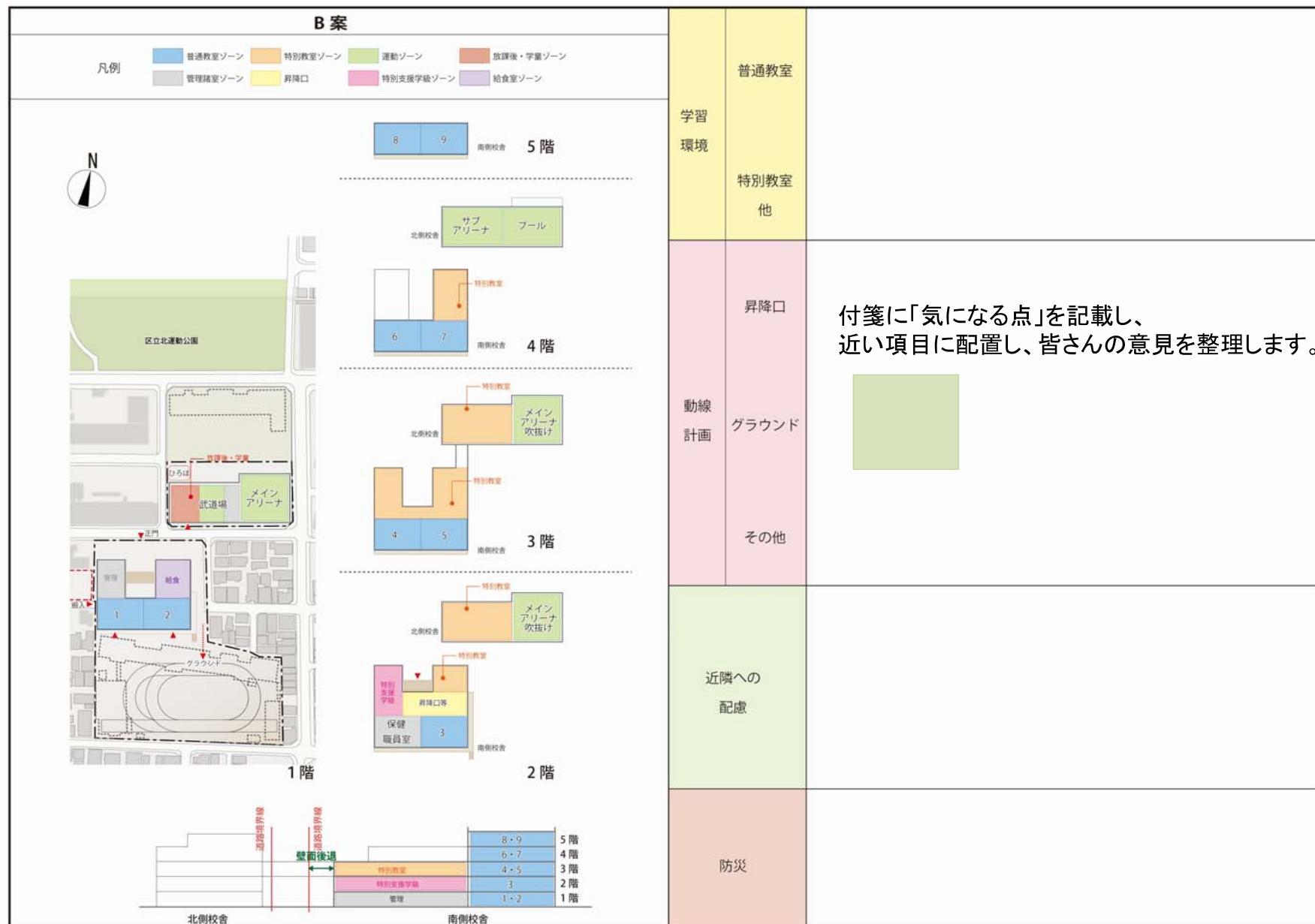
グラウンドに面して
1フロアに2学年配置

1・2年生→直接教室へアクセス
3～9年生→2階に設置

北側に面したゾーンは3階建とし
圧迫感を軽減

3-2 グループディスカッションの方法

A案		普通教室	特別教室	他	昇降口	グラウンド	その他	付箋に「気になる点」を記載し、 近い項目に配置し、皆さんの意見を整理します。
学習環境	動線計画							
								
								
								
								



付箋に「気になる点」を記載し、
近い項目に配置し、皆さんの意見を整理します。



3-3 意見交換・集約

4. 総括・次回の予定確認

第3回ワークショップ： 2018年 11月 13日(火) 19:00～ 場所：神谷ふれあい館